



第 13 回例会

2023.10.25

会員 70 名中 47 名出席 出席率 67.14%

修正 54 名出席 出席率 77.14%

メイクアップ 7 名

クラブテーマ

「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」

方針

1. ローターアクトの地位向上
2. 女兒のエンパワーメント
3. DEI の促進
4. ポリオ根絶
5. ローター行動計画の実施

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



10 月 22 日、猪苗代湖漂着水草除去回収作業を当クラブから 21 名の会員の皆様に参加され、福島成蹊高校のインターアクトの学生 17 名と合わせて、計 38 名で参加することが出来ました。当日は初雪が降り吾妻山は雪化粧をしており猪苗代は福島より寒いのではないかととても心配しておりましたが無事実施できました。作業を実施する前には、地元の NPO 法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」の方々から猪苗代湖の水草の状況、現在の水質汚染についての説明があり、その後一斉に岸に上げられた水草を 20k 入れのコンテナに入れ軽トラックで別の場所に運び、その水草の水を抜いた後、堆肥にするとのことで岸に上げられた水草は 1 時間余りですっかり綺麗にする事ができました。

毎年、水草除去回収作業を行なって猪苗代湖は年々水質が良くなってきているのではないかとおられておりましたが昨年より逆に漂着水草の量が増えており、また昨年見た水草で無い水草がありそれは温暖化で水温が上がり水草が繁殖しやすい環境になっているのではないかとおられます。秋になってそれらの水草が枯れ、岸に波によって打ち上げられその水草が腐れ猪苗代湖の水質汚染悪化を起こしているとのこと。

我々は後世に綺麗な猪苗代湖を守って伝授していくことが私達の役目ではないかとおと考えております。温暖化対策の一貫として今、自分達が出来ることから実行し温暖化対策に少しでも貢献していければと考えております。今回、齋藤高裕社会奉仕委員長元、委員の皆様には何から何まで段取りして頂きました事に感謝申し上げます。

今年度の当クラブ重要目標にしております 14 名の会員増強、81 名の会員数、81 名の 15%(12 名)を女性会員にすることにあたり先日、河野忠会員増強委員長元、会員増強会員皆様と会員増強するための戦略会議を行いました。会員増強を実現するため河野会員増強委員長より近いうちに会員の皆様にご説明があり会員の皆様のご協力をお願いするかと思いますのでよろしくお願い申し上げます。





## ■職業奉仕セミナー報告 河谷 元 委員長

## ■米山功労者表彰



河谷元職業奉仕委員長から、職業奉仕委員会セミナーの内容の報告がありました。講話とディスカッション方式でマックスウェーバーの天職の概念、キリスト教と資本主義についての話が報告されました。



吉田 和義 会員  
第13回ゾヤードナー



## ◆富岡ロータリークラブ 田中 美奈子 様



東日本大震災と原発事故により、富岡ロータリークラブの会員は避難を余儀なくされ、亡くなられた会員もあり、クラブ存続の危機に陥りました。いわき市で例会を再開しても、最初は10人くらいしか参加者がいませんでした。当時の大橋ガバナーは何度も富岡ロータリークラブの例会に参加されました。ロータリーの友情はすごい、どんなことがあっても続けていかなければならないと思いました。今は会員が50名を超えました。原発事故後にクラブがなくなっていたかもしれませんが、皆さんの友情と大きな力に支えられて存続できました。これからも若い人に引き継いでいけるような富岡ロータリークラブにしていきたいです。

## ◆ゲストスピーチ 富岡ロータリークラブ 西山 由美子 様



富岡ロータリークラブは、J ヴィレッジを中心に3か所くらいの例会場で開催しています。東日本大震災当時、会員は45名で、東電関連の方も多くおられました。震災後にいわき市で例会を再開させましたが、当初の参加者は10名ほどでした。しかし、1年間で会員純増14名を達成し、現在の会員数は50名です。きっかけは、昨年のユラックス熱海での田中久夫先生のセミナーでした。会員増強の壁と問題としては、1.シニア会員自らが自覚するべきことを正しく認識していないこと 2.新会員へのフォローが不足している事、ロータリーの理解浸透について前向きに取り組んでいないこと 3.その年の会長・幹事がやる気がない 4.若手・女性を入れられないが挙げられます。富岡ロータリークラブでは、毎月「夜間・会員増強会議」を開催しました。会議では、会長、幹事、会員増強委員の他、若手メンバー（友人の多そうな性格明朗な人）を5～6名招集しました。メンバーから候補者リストを収集し、重複する20名に絞り、優先順位をつけて順番に電話攻勢しました。推薦したメンバーが電話し、交代してさらに説得しました。

### 富岡RC 夜間会員増強会議

1. 参加メンバー：会長・幹事・会員増強委員長ほか委員
2. 毎月必ず開催
3. 候補者リスト(アタックリスト)作成：毎月更新
4. その場で情報確認・優先順位：入会確率高
5. 声かけ担当からの結果や進捗
6. 6月最終会議では、次年度会員増強委員会へ継続

### 富岡ロータリークラブ会員増強



震災のおかげで、地域には先輩から後輩へとつなぎ続けてきた見えないバトンがあると気づかされました。

ロータリークラブも先達から脈々と受け継がれてきた地域の大切なバトンだと思います。

2022～2023年度  
2530地区会員増強委員 西山 由美子

このバトンをつなぐためにも

国際ロータリー2530地区 富岡ロータリークラブ  
Rotary Tomioka Rotary Club



富岡RC. 震災を乗り越え飛躍

五十年の歩み  
とみおか



田中 久夫

高松経済大学 経済学部教授 (会計学専攻)  
1957年2月生まれ、群馬県高崎市出身  
●現職  
・高松経済大学経済学部教授 (会計学専攻)  
・経営学博士 かつしゃん館理事長  
・税理士 かつしゃん社会保険労務士法人  
・社会保険労務士  
●ロータリー歴  
1998年高松ロータリークラブ入会、幹事を務めて会長 (2014～2015)  
その後、国際ロータリー第2840地区ガバナー (2017～2018) に就任  
現在は、国際ロータリー第1地域ロータリーコーディネーター補佐 (ARC)  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学基金評議員、同会財務委員長

